

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	中国語Ⅱ	担当者名	藤巻 啓森
授業の概要	この科目は入門編を終了した学生のために、引き続き正しい発音することができる能力を身につけるようにする。そのための耳と口の徹底的な訓練過程で基礎的な語句や文を学びながら、単文を中心とした口語の基本文法をマスターすることを目的とする。口語の基本的な例文を繰り返し徹底的に学習し、例文のすべてを正確に音声化することで将来の運用能力養成の前提となるよう進めたい。				
科目の到達目標	・ この科目は、中国語Ⅰのあとをうけ、さらに一步進んだ中国語の基礎事項を学習することにある。引続き徹底した発音訓練を行うのはもとより、文法的には複文を含むやや複雑な文法に進む。「中国語能力検定試験」の4級に合格するように目指す。 ・ 中国語会話の学習を通じて、中国の文化・歴史・社会・生活・習慣などを理解する。視野を広め、異文化への理解をより一層深めさせ、国際化する現代の社会に適応する人としてのあり方を考えさせる。				
DPの観点	①聴く力(20) ②表現力(20) ⑥専門知識・技能(60)				
授業時間外学修 (予習・復習)	毎日5分でも復習する必要がある。				
フィードバックの方法	教務課より中間及び期末試験の結果を返却する。				
単位認定の要件	授業態度、学習意欲、そして期末試験の成績により単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合 (%)	1. 期末試験 70% 2. 出席率及び授業態度 30%				
履修上の注意事項	事前の予習、事後の復習必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			第10課 出来事を尋ねる② 様態補語 “是～的”「～なのです」	①②⑥	会話
2			第11課 希望を尋ねる 1. 助詞“想”「～したい」 2. 動作の完了を表す“了”「～した」 3 前置詞	①②⑥	会話
3			第12課 行き方を尋ねる “怎么”「どうやって」「どのように」	①②⑥	会話
4			第13課 経験を尋ねる 経験を表す“过” 「～したことがある」	①②⑥	会話
5			復習 Ⅲ	①②⑥	練習問題の提出
6			第14課 相手の都合を尋ねる 1. 助動詞“会”「～できる」 2. 助動詞“能”「～できる」 3 連動文②	①②⑥	会話
7			第15課 比較する 1 比較を表す“比” 2 反復疑問文	①②⑥	会話
8			第16課 条件・情報を尋ねる① 1 全治し“离”「～から／～まで 2 “有点儿”「ちょっと」	①②⑥	会話
9			第16課 条件・情報を尋ねる① 1 全治し“离”「～から／～まで 2 “有点儿”「ちょっと」	①②⑥	会話
10			第17課 進行状況を尋ねる ① 動作の進行を表す副詞“在”	①②⑥	会話
11			第17課 進行状況を尋ねる ② 結果補語	①②⑥	会話
12			第18課 別れを告げる ① 助動詞“要”「～しなければならない」	①②⑥	会話
13			第18課 別れを告げる ② 変化を表す“了”	①②⑥	会話
14			復習 Ⅳ	①②⑥	練習問題の提出
15			総合復習	①②⑥	練習問題の提出
期末試験			筆記試験		

使用テキスト	『できる・伝わる コミュニケーション中国語』
参考文献 参考URL	随時に指示
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--